

塁審の構え方（セットポジション）

走者がいない場合：スタンディング・セットポジション（立ったままで膝を少し曲げ、いつでもスタートできる姿勢）で立ち、打者に正対する。

走者がいる場合：一塁塁審と三塁塁審は投手に正対し、二塁塁審は打者に正対して顔を投手に向け、セットポジション（セットの姿勢）で構える。（ボールがリリースされたら、構えた両手を少し浮かし、動けるようにする）

構えるタイミングは、投手がボールを持って、投手板に位置したときである。これは、投手の規則違反（ボーク）を見逃さないためである。いずれの場合もボールを持った投手から目を離さず、ボールがリリースされたら身体（胸）を打者に向け、ホームプレート（打者）に視点を移す。

（構えた両手を少し浮かし、動けるようにする）

* 競技者必携 2015、169 ページより

5つのキーポイント

- ① 止まって見る
- ② 角度をとる
- ③ ボール、プレイを常に自分の正面に
- ④ 判定を急がない
- ⑤ 待ち受ける